

平成 29 年度中野市子ども子育て会議録

日時 平成 29 年 7 月 19 日(水) 午後 6 時 30 分～午後 7 時 45 分

場所 中野市民会館 42 号会議室

〈出席者〉

委員 竹内美佳、西野和之、山崎美紀、徳竹美雪、山田智子、高橋由美子
湯本美奈子、伊藤 勇、高木 涼、原沢あけみ、吉原恵美子
小山むつ子、大口和江、小高 朗、高野次郎、阿部玲子
仁科智栄子、池上美和子、中山 愛、山本由香

(順不同 敬称略)

事務局 8 名

1 開会

委員の委嘱 (選出団体の役員等の変更の伴い、5 人が退任したことにより、替わって 5 人が新任)

2 あいさつ

(子ども部長)

本日はご出席いただき御礼申し上げます。

また、平素は本市行政運営にご理解とご協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、子ども・子育て支援事業については、平成 27 年度に新制度が施行され、それに伴い策定した「中野市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、現在さまざまな事業を実施している。新たな子ども・子育てに関する制度の推進について、国や県と調整を図りながら業務に取り組んでいる。

本日は、事業の実施状況について報告を申し上げますが、実際に子育てにかかわる皆様方のご意見をお聴きする中で、更に円滑な事業の展開ができるよう、努力してまいりたい。皆様には多岐にわたる視点でご意見をいただきたい。以上、御礼とお願いを申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

(事務局 配布資料の確認)

(委員自己紹介)

(事務局自己紹介)

3 協議事項

(1) 会長及び副会長の互選

(事務局)

会長及び副会長の互選については、中野市子ども子育て会議条例第4条にある「会長と副会長は委員の互選による」旨の規定に基づき委員の皆様の中から会長と副会長を互選していただきたい。

互選の方法について、皆さんの意見を求めたい。

(委員から意見無し)

(事務局)

意見がないようなので、事務局案を提案させていただきたい。

【委員一同頷き】

(事務局)

会長に「中野市民生児童委員」阿部玲子様をお願いしたいが、いかがか。

【委員一同 賛成の拍手】

(樋口会長あいさつ)

会長という大役を仰せつかったが、無事任務を全うできるよう頑張るので皆様のご協力をお願いしたい。

(2) 「中野市子ども・子育て支援事業計画」実施状況について

《阿部会長が進行》

《資料に基づき事務局が説明》

※見込み量の見直し

本計画は H27 年から H31 年度までの計画であり、本年度が中間見直しの年度にあたる。平成 29 年 1 月 29 日付の内閣府通知で、実績と計画の見込み量に乖離がある場合は見直しが必要であるとされており、今回、実績を踏まえ見直しをする値がある。

①子育て支援センターを中心とする支援について、当初の計画では利用者数の 31 年度見込みを 27,058 人としましたが、利用者数が増加傾向にあり、また需要が高い事業である実情から、今回、31 年度の見込みを概ね現状維持の 38,000 人に見直し修正をしたい。

②多様な保育サービスの提供のうち、通常保育事業の教育保育について見込み量と実績では 10%以上の乖離があるので、31 年度見込みで、3 号認定は計画策定時の 116 人を 74 人に修正したい。1 号認定については、計画策定時に幼稚園における教育ニーズもしていたが、今回、保育園における教育ニーズということで 190 人を 156 人に見直し修正したい。

③一時預かり事業の実施

これまでの実績の推移から検討し、計画策定時の 11,269 人を 3,140 人に見直し修正をしたい。

国の通知では、重点的に見直すべき値が 1 号認定及び 3 号認定についてであり、その他の項目については社会的要因等により数値が大きく変更されることが予想される場合は変更するようとの指示であるため、他の項目については 31 年度の見込み数値を変えていない。

(保育課長)

H27 年 3 月策定当時の計画のとらえ方について

「中野市子ども子育て支援事業計画」が以前の「子どもすくすくプラン」を引き継ぐ形で策定したため、保育部門については保育所を中心に考えていた部分があった。が、認定こども園や幼稚園の事業についても該当する部分があれば加えていくべきものだと考えている。

次回からは以上のことを考慮したうえで報告資料を整えたい。

(阿部会長)

協議事項（2）について、意見質問等あるか。

(大口委員)

放課後児童クラブについて、27 年度から小学 6 年生まで利用可能になり児童数が増えていると思うが、現在の 14 カ所で安全面は問題ないのか。今後クラブを増やす意向はあるか。

(子育て課長)

子ども数は減少傾向だが、利用者は増える傾向にある。ただし、将来的には利用者も減少するだろうと見込んでいる。クラブ数は現状のままの予定である。安全面については基本的なことと考えており、学校の余剰教室を使う等、配慮している。

(3) その他

(高木委員)

各事業を一生懸命やっていることは理解し感謝している。

他の市町村では、この会議を数回開催しているところがある。有識者が出席している会議なので、事業や計画推進のために課題となっていること等をいろいろな角度からこの会議で話し合うような場になってほしい。

その他の事項では意見は出ないと思う。

日本は世界の中でも少子化が進んでいる。その中で中野市はどう思い、

少子化を食い止めようとしているのか。他の市町村でやっていないことをやらないと、出生数は増えていかない。若い労働力が減少しない中野市にしてほしい。

(西野委員)

児童養護施設に勤務している。長野市の子育て支援では、土日曜日のトワイライトステイや母親が出産して上の子の面倒をみられない等の場合に利用できるショートステイを児童養護施設を活用して実施している。中野市では、障がい者には同様のサービスはあるが、一般には施設がなく実施は難しいと思う。事業の提案をさせていただいたが、施設がないこと等から、すぐには実施は難しいと思う。

(阿部会長)

市は、参考意見として聴き、今後につなげてほしい。

(湯本委員)

ファミリーサポートセンター事業は、いい事業だと思うが、利用料が高い。市がサポートをしてくださる方に補助金を出し、使う人が安く利用できるよくなればいいと思う。実際に母親の仕事の都合で保育園のお迎えが間に合わない時に利用したいが料金が高いという声も聞く。利用料はいくらなのか。

利用する人は安価で、またサービスを提供する人は市からの補助を受け、ある程度の収入になれば、利用しやすくなると思う。

(子ども支援係長)

3歳未満は1時間700円、3歳以上は600円である。提供する方のボランティア精神で担っていただいている部分もある。利用料の補助については難しいが、今後検討するための意見として聴く。

他に意見等なし

4 その他

(子育て課長)

今日のご意見を参考に会議の内容を見直したり、また違う会議の形でも検討する等、参考にしたい。

5 閉会